TADOKU JUNIOR　イソップ物語　★★★☆☆ ふつう　306語

The Fox Without a Tail

しっぽをなくしたキツネ

Aesop（1919年の本）　**原文そのまま**　朗読：Niki Kernow

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　わなにかかってしっぽをなくしたキツネ。なかまに笑われたくないので、「しっぽなんてあぶないから切ってしまおう」とみんなを集めて話しますが……。



A Fox that had been caught in a trap, succeeded at last, after much painful tugging, in getting away. But he had to leave his beautiful bushy tail behind him.

For a long time he kept away from the other Foxes, for he knew well enough that they would all make fun of him and crack jokes and laugh behind his back. But it was hard for him to live alone, and at last he thought of a plan that would perhaps help him out of his trouble.

He called a meeting of all the Foxes, saying that he had something of great importance to tell the tribe.

When they were all gathered together, the Fox Without a Tail got up and made a long speech about those Foxes who had come to harm because of their tails.

This one had been caught by hounds when his tail had become entangled in the hedge. That one had not been able to run fast enough because of the weight of his brush. Besides, it was well known, he said, that men hunt Foxes simply for their tails, which they cut off as prizes of the hunt. With such proof of the danger and uselessness of having a tail, said Master Fox, he would advise every Fox to cut it off, if he valued life and safety.

When he had finished talking, an old Fox arose, and said, smiling:

"Master Fox, kindly turn around for a moment, and you shall have your answer."

When the poor Fox Without a Tail turned around, there arose such a storm of jeers and hooting, that he saw how useless it was to try any longer to persuade the Foxes to part with their tails.

> **Do not listen to the advice of him who seeks to lower you to his own level.**

わなにかかったキツネが、いたいのをがまんしてなんども引っぱり、やっとのことでにげ出しました。けれども、自分のきれいなふさふさのしっぽを、あとにのこしてこなければなりませんでした。

長いあいだ、そのキツネはほかのキツネたちに近づきませんでした。みんなに笑われたり、からかわれたり、かげでくすくす笑われたりするのが、よくわかっていたからです。でも、ひとりでくらすのはつらいことでした。そこでとうとう、こまったことからぬけ出せそうな、ある考えを思いつきました。

キツネは、なかまにとても大事な話があると言って、キツネたちをみんな集めました。

みんなが集まると、しっぽのないキツネが立ち上がり、しっぽのせいでひどい目にあったキツネたちのことを、長々と話しました。

あるキツネは、しっぽが生けがきにからまって、りょう犬につかまってしまった。またあるキツネは、ふさふさのしっぽが重くて、はやく走れなかった。それに、人間はキツネのしっぽだけがほしくてキツネがりをして、かりのきねんにしっぽを切り取るのだと、みんなが知っているではないか、とキツネは言いました。しっぽがあるのはこんなにあぶないし、役にも立たない。命と安全が大事なら、みんなしっぽを切ってしまうといい、とキツネは言いました。

キツネが話しおわると、年とったキツネが立ち上がり、にっこりして言いました。

「キツネさん、ちょっとうしろを向いてごらん。そうしたら、わたしたちの答えがわかるよ。」

しっぽのないかわいそうなキツネがうしろを向くと、どっと大きなやじと笑い声がおこりました。キツネは、なかまにしっぽを切らせようとしても、もうむだだとさとりました。

> **自分と同じところまで、あなたを引きずり下ろそうとする者の言うことを聞いてはいけません。**

たんご と クイズ　しっぽをなくしたキツネ

Fox キツネ	**trap** わな	**tail** しっぽ
hounds りょう犬	**hedge** 生けがき	**meeting** 集まり

Q1 キツネがにげるとき、なにをあとにのこしてきた？

① しっぽ　② 耳　③ 足

Q2 しっぽのないキツネは、みんなになにをすすめた？

① しっぽをきれいにすること　② しっぽを切ってしまうこと　③ わなをこわすこと

Q3 年とったキツネが「うしろを向いて」と言ったのはどうして？

① ごちそうがあったから　② しっぽがないのを見せるため　③ 友だちが来たから

こたえ

Q1 ①　キツネは、きれいなふさふさのしっぽを、あとにのこしてきました。

Q2 ②　しっぽはあぶなくて役に立たないから、みんな切ってしまうといい、とすすめました。

Q3 ②　うしろを向くと、しっぽがないのがみんなに見えます。自分がなくしたからすすめているのだと、ばれてしまいました。

原田英語の多読ベストジュニア
本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。
haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19994（Aesop、1919年）。パブリックドメイン。
挿絵：Milo Winter（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Niki Kernow（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。